

氏名	おうんちやぬむ ぱんでいん OUNCHANUM PANDIN
学位(専攻分野)	博士(学術)
学位記番号	博甲第679号
学位授与の日付	平成25年9月25日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当
研究科・専攻	工芸科学研究科 造形科学専攻
学位論文題目	THE STUDY OF THE ORGANIZATION OF SELLING SPACE IN MARKETS In case of Chiangmai, Thailand and Kyoto, Japan (マーケットにおける売場の空間構成の研究—チェンマイと京都の市場を事例に一)
審査委員	(主査)教授 木村博昭 教授 鈴木克彦 教授 長坂 大

## 論文内容の要旨

本論文は、二つの歴史的な都市であるタイ国のチェンマイと日本の京都でのフリーマーケットおよび市場の空間構成の研究である。市場の客と売り場空間における、混沌とした無秩序な空間の全体把握と空間構成の明確化を行い、2国間の互いに異なる市場の持つ類似性、相違から市場の持つ活力と魅力の要因を探る調査研究の論文である。

本論文の構成は、第5章から成り、以下に各章の概要を記載する。

第1章は、イントロダクションとして、研究の背景、その調査方法と研究の構成、文献研究から市場の歴史的背景、そして、タイ国のチェンマイと日本の京都における現況の市場について概要を記述している。

第2章は、チェンマイ大学での修士論文であるチェンマイ郊外のトゥンファーボッド牛市場での調査研究から、フリーマーケットの無秩序な市の全体把握と構成を導き出し、空間構成の明確化を示す。

第3章は、チェンマイと京都の2国間の比較研究として、トゥンファーボッド牛市場と京都における知恩寺の手づくり市、東寺の弘法市、北野天満宮の天神の骨董市等との調査により、京都とチェンマイにおける、そのフリーマーケットの仮設建築の空間構成、テント屋台のタイポロジー等、そして、客と売り手の様々な関係により成立する空間把握から、その類似性と相違を示し論述している。

第4章は、Selling Spaceの研究として、タイの古都であるチェンマイ最大の中央市場であるカードルアン市場を研究対象に、現地での詳細な調査に基づき、この広大な市場全体の配置構成、時間的用途の変化、店舗業種の把握、売り場のタイポロジー等を示し、そして同様に京都の錦市場においても現況調査を行い、配置構成、時間的用途の変化、店舗業種の把握、売り場のタイポロジー等を示す。そして、両市場を比較対照させながら、この自然発生的で無秩序な市場の Selling Space における、客と売り場の関係と賑わいと魅力を示す境界面の微妙な空間構成の成り立ちの構成要因である溢れ出しのタイポロジーを抽出し、そして、その度合いの加減や制御を数値的に計量化する事で、チェンマイのカードルアン市場と京都の錦市場のその法則性の一端を論述している。

第5章の最終章では、本論文の研究に基づき全体の総括を述べ、これまでの市場空間の空間把握から、市場空間の空間構成の創造に対する、その賑わい要因である売り場の溢れ出しスペースと人との最適な距離感を具体的な数値で提示し、設計上の指針を述べる。

## 論文審査の結果の要旨

申請者は、本学位論文の申請にあたり、平成25年6月19日に造形科学専攻での事前審査会により、専攻の承認を得て、平成25年6月25日に申請を行った。

本論文は、学術論文の2編の論文(1)、(2)を中心に5つの章で構成されている。本論文は、フリーマーケットと市場空間に注目し、アジア圏特有の混沌とした無秩序ながらもその魅力である賑わいや活力の要因を空間の構成から探求する研究である。また、アジア圏のタイ国と日本の古都であるチェンマイと京都における、生活に密着し観光的要素でもある市場における空間構成の2国間の比較研究である。さらには、これまで詳細な現況調査が行われていなかったフリーマーケットのチェンマイ郊外のトゥンファーボッド牛市場、チェンマイ市内のカードルアン中央市場のその全体把握と空間構成を明確化した最初の調査研究である。

本論文は、3つに大別され、始めの1～2章では、論文の基本的な項目となるマーケットにおける歴史及びチェンマイにおける状況を詳細に報告され、3章では、フリーマーケットについて論述され、客と売り手の様々な関係により成立する空間把握を行い、そして、それらの空間構成と連動する仮設建築の建築形態を示し、2国間の類似性と相違から、特に、アジア圏のフリーマーケットの特性を見出している。

そして、4～5章では、チェンマイ市内のカードルアン中央市場と京都の錦市場の詳細な現況調査を行った上、いわゆる欧米方式の整然と整備・規制された市場の成立に対し、特に、賑わいや活力の構成要因である Selling Space の歩道や道路の溢れ出す空間に注目している。これら、溢れ出し空間のその度合いの加減や制御等の調査を行い、さらには、日中と夜の時間的変化による場所の空間変異を図式化によって、これらの解明を行っている。これら自然発生的な現象と見られた客と売り手側の関係性から、一定の淘汰された空間の法則性を探り、そして、市場の溢れ出し空間の曖昧領域の数値的計量化を行う事で法則性の一端を明らかにしている。また、調査結果の報告として、空間モデルとなる具体的な設計上の指針を示している。

以上から、本論文の内容は、精力的な調査研究に基づいた、アジア圏のフリーマーケットや市場空間の空間把握と空間構成の市場空間の解明において極めて優れた研究であり、且つ十分に新規性があるものである。本論文が、学位論文として十分な学術的価値と内容を備えるものと認められる。

なお、本論文の研究内容は、申請者を筆頭著者とする2編(1)、(2)の査読付き学術論文として報告され、また、研究の基礎となった参考論文1編(3)いずれも発表済みである。

### <学術論文>

(1) Pandin Ounchanum, Hiroaki kimura, Identity of Selling Space in Flea Market,

A comparative Study between Chiangmai, Thailand and Kyoto, Japan

-Journal of Habitat Engineering and Design 2012, Volume 4 Number 1, p.53~64, ISSN: 2186-6503

(3.2012)

- (2) Pandin Ounchanum, Hiroaki kimura ,The Overflow of Selling Space : a Comparative Study between Kad Luang, Chingmai, Thailand and Nishiki, Kyoto, Japan,  
Journal of Habitat Engineering and Design 2013, Volume 5 Number 1, p. 27~39, ISSN: 2186-6503

(3.2013)

<参考論文>

- (3) Pandin Ounchanum, Rawiwan Oranratmance, Promoting Vernacular Identity of Tungfabod Cattle Market Chiangmai,  
ISACS 2009, Traditional 6.1 p.1 ~8, Faculty of Architecture, Chiang Mai University (2<sup>nd</sup>-4<sup>th</sup> Dec.2009)